

<p>企画名</p>	<p>緑のカーテンづくり講習会</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子市消費者の会 問合せ先 和田三千代 TEL: 04-7183-1434 Email: mywada_1206@ae.auone-net.jp ホームページ: http://www.abikoshi-syouhisyanokai.net/</p>
<p>目的</p>	<p>① クーラーを使用しなくても涼しく過ごせる緑のカーテンの普及をし、節電に寄与する。 ② 手賀沼の水質状況を知ってもらい、生活排水を改善すれば汚染の改善につながることを啓発する。</p>
<p>日時・場所</p>	<p>2014年5月7日(水)10:00~11:45 我孫子南近隣センターホール(9F)</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>① 手賀沼の状況と取り組み 手賀沼の流域人口の増加、手賀沼のCODの増加、下水道整備等の対策等をグラフを基にこれまでの状況と現状を説明し、汚れた食器をふき取ることも浄化に繋がることを啓発した。 ② 緑のカーテンづくりの概要 カーテンづくりの流れとポイントを提示。前半は土づくり、水やり、支柱とネットはり、摘心・誘引、後半是水やり、受粉、追肥。片付け時のお願い。 ③ 質問に答える達人コーナー 中村 公陽 氏 12人から質問がでた。植え過ぎ・肥料不足・肥料焼け・連作への対策、土の天日干しなど、講師から経験に基づいた適切なアドバイスがされた。最後に、カーテンの後始末の仕方やゴーヤの料理も紹介された。 ④ 緑のカーテンコンテストのお知らせ 深山 恒男 (エコライフあびこ) ⑤ 1人2本ずつゴーヤの苗を配布(100名に配布) *栽培は手賀沼トラスト</p>
<p>参加対象 参加人数</p>	<p>一般市民90名 スタッフ8名 講師1名 緑のカーテンコンテスト宣伝1名 計100名</p>

「毎日見て、困った要素を発見して早く手を打つことです。可愛がってあげることですよ。」 (中村講師)

手賀沼の水質はワースト2。ひとりひとりの水を汚さない暮らしが大切。(加藤)

今年も「手賀沼トラスト」がゴーヤの育苗。寒い時期の種まき、発芽は部屋の中で行いました。

立派なカーテンに育ててくださいね〜。

| 参加者や実施団体の感想 | 開催日が平日の午前中、宣伝は市の広報とミニコミ紙1、近隣センター等にチラシを置いただけだったが、当日は、定員いっぱいの方となった。カーテンづくりは6回目となり、定着してきたと感じた。自分で始めたがうまくいかなかった人、初めての人たちにとって講習会が役立っていることを実感した。また、私たちの暮らしの見直しが手賀沼の水質改善につながることを、緑のカーテンで節電の夏を過ごすことができることを伝えられたと思う。 |

<p>企画名</p>	<p style="text-align: center;">生きものと共生するかかしまつり</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 NPO 法人手賀沼トラスト 問合せ先 富沢 崇(事務局) TEL: 04-7115-1109 Email: info@teganuma-trust.jp ホームページ: http://teganuma-trust.jp/</p>
<p>目的</p>	<p>かかし作りを通して、自然と共生する米作り・地域作りを身近に感じてもらう。</p>
<p>日時・場所</p>	<p>① かかし作り 2014年7月19日(土)9:00~12:00 ② かかしまつり 2014年8月23日(土)9:00~12:00 場所:手賀沼トラスト集会場(我孫子市根戸1349)、田んぼ</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>① かかし作り体験 各自がテーマを決め、思い思いのかかしを製作する。</p> <p>② かかしまつり(コンテスト) ・虫採りと生物観察 ・生態系に関する講義 ・かき氷 ・田んぼに設置されているかかしのコンテスト(一般参加者および会員の投票)</p>
<p>参加対象 参加人数</p>	<p>参加対象:手賀沼周辺市民(我孫子市・柏市)親子、会員 参加人数:①49名 ②77名</p>
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>かかし作り</p> <p style="color: red; font-size: small;">2014/07/19</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>かかし作り</p> <p style="color: red; font-size: small;">2014/07/19</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>かかしまつり</p> <p style="color: red; font-size: small;">2014/08/23</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>かかしまつり</p> <p style="color: red; font-size: small;">2014/08/23</p> </div> </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>かかし祭りも今年で5年目となり、周辺への認知度も上がったせいか会員外の参加者が年々増えてきている。作られるかかしも様々な工夫が見られ、細部の仕上がりや強度も向上し、その出来ばえに驚くばかりである。</p> <p>コンテストと並行して行う虫取りでは田んぼの周りを子供たちが網を手で一心走り回り、捕まえた虫やカエルを自慢げに見せにくる。8月の空の下、大人も子供も一緒になって遊んで汗をかき、かき氷を頬張るその顔は誰もが笑顔だった。</p> <p>7、8月の暑い時期での開催で準備も大変だったが今年も病気やけが人も無く盛況に終わってほっとした。</p>

<p>企画名</p>	<p>手賀沼をもっときれいに！いきものにやさしいせっけんで！！</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子市石けん利用推進協議会 問合せ先 商工観光課消費指導担当 TEL: 04-7185-1469 FAX: 04-7182-8080</p>
<p>目的</p>	<p>手賀沼の水質悪化の大きな原因は、家庭排水とりわけ合成洗剤の多用でした。それに気がついた市民(団体)からの請求によって、我孫子市は全国で唯一石けん利用に関する条例を持っています。下水道の整備が進んだ今も、生活排水は水環境に大きな影響を及ぼしています。ひとりひとりが自らの使う(流す)水について考える機会とします。</p>
<p>日時・場所</p>	<p>2014年7月27日(日)9:30~11:30 アビスタ工作室</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合成洗剤とせっけんはどちらがうの？ ・ ハミガキ実験で、せっけんと合成洗剤の違いを体験しよう。 ・ パワーポイント「手賀沼のよごれ・生きものの状況とせっけん」で、生きものとせっけんのつながりを説明。 ・ 「ガシャモク」の育成実験、合成洗剤の影響を見る。 ・ DVD鑑賞:ミドリゾウリムシへの合成洗剤の影響、魚「アジ」への合成洗剤の影響を見る。 ・ 毎日どのようにお皿を洗っていますか？(よごれのふきとりで排水をきれいにできることを知る) ・ ブラックボックスで合成洗剤の蛍光増白剤を見よう。
<p>参加対象 参加人数</p>	<p>対象:小学生親子 28人、スタッフ7人</p>
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>家族みんなで参加</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>【ハミガキ実験】せっけんハミガキと合成ハミガキの後の、ジュースの味のちがいにびっくり。</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>お皿をそのまま洗うと、こんなに水がよごれるね。</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>【ガシャモクの生育への影響】台所用合成洗剤は枯れ死、洗濯用合成洗剤は一部が枯れた！</p> </div> </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ この学習会に参加するまでは、「せっけん」と「ごうせいせんざい」とでは、「せっけん」のほうがよいということはあまり分らなかったけど、学校給食でも使われているぐらい「せっけん」は生き物にとっていいということがわかり、よかった。 ・ ジュースの味の違いはとてもびっくりしました。きれいな手賀沼を見たいです。皆さんの情熱が伝わってきて感動しました。 ・ 今日のじゅぎょうを元にして、夏休みのしゅくだいをがんばり、友だちにもせっけんのよさを言いたいです！

<p>企画名</p>	<p>手賀沼親子ヨット体験乗船会（我孫子）</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 NPO 法人 アルバトロスヨットクラブ 問合せ先 須藤 敏通 TEL: 04-7132-6415 Email: redhog_104@nifty.com ホームページ: http://www.geocities.co.jp/Athlete-Sparta/2767/</p>
<p>目的</p>	<p>セーリングを体験しながら手賀沼に親しむ機会を提供する。 セーリングに必要なロープワークや初歩の帆走技術を習得する。</p>
<p>日時・場所</p>	<p>2014年9月27日(土) 手賀沼の手賀大橋北詰 我孫子手賀沼漁協棧橋前</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>8:00 帆走指導者、運営役員集合。漁協棧橋にてシカーラ2艇の準備。 アクセスディンギー2艇を手賀沼公園から棧橋に陸路搬入及び準備。 9:20 午前の部参加者集合開始・須藤理事より乗艇の心得について説明。 9:30 アクセスディンギー2艇、シカーラ2艇に分乗して、各自平均して15分間の体験を行った。待ち時間の間、AYCクラブ員により、手分けして船体各部の名称、基礎的なロープワーク、帆走原理等を説明。 12:00 午前の部終了。午後の部の体験乗船会開始。 14:00 午前の部と同じサイクルを繰り返し終了。 16:00 棧橋より艇の搬出、艀装解除、整理、クラブ員全員解散。</p>
<p>参加対象 参加人数</p>	<p>親子参加:午前 26名、午後 22+ 幼児 3名 計 48名。クラブ支援者 17名</p>
<p>参加者や 実施団体の 感想</p>	<p>台風17号が接近しており、前日まで開始が危ぶまれた。しかしながら当日は、熱低に変わった台風が早めに沖合を東方に去り、天候は快晴、3m程度の適風に恵まれた。その結果、参加者の多くがヒールと言う艇を傾けた状態での帆走を経験することが出来、子どもたちは勿論保護者の方々にもヨットの醍醐味を味わって頂けた。</p>

企画名	川めぐりと木下の史跡散歩
実施団体	団体名 我孫子の文化を守る会 問合せ先 齊藤 清一 TEL: 04-7183-9815 Email: sssaitou@hotmail.co.jp
目的	手賀川の船上見学と史跡めぐりで手賀沼の現況を知り、手賀沼環境保全を考える機会とする。
日時・場所	2014年9月28日(日) 11:45~15:20 集合: 印西中央公民館
プログラム・概要・ルート等	印西中央公民館にて参加者に本日の目的を説明。 [川めぐり] 渡船場から1艘11名ずつ2艘に乗船 印西観光協会の説明で出航。 ルート 弁天川⇒手賀川⇒下手賀沼⇒手賀川⇒六軒川めぐり [木下の史跡探訪] 印西ふるさと案内人協会の協力により、海に埋もれていたいにしへの印西、江戸時代の繁栄の木下、貝層と貝塚の相違を何度も何度も説明される。 ルート 中央公民館・道標⇒手賀沼排水機場⇒利根川⇒木下河岸(江戸から明治にかけて江戸、東京への重要な物資輸送の水陸の要所)⇒吉岡家(江戸時代からの問屋)界限⇒木下貝層⇒万葉公園⇒上町観音堂・(堂内の厨子には銅造十一面観音立像安置)⇒木下駅
参加対象 参加人数	我孫子市民 22名



絶景！手賀川から六軒川へ



吉岡家の倉を博物館に改造



驚愕！貝殻の石灯籠



上町観音堂脇の近日開催される祭りの準備の山車

参加者や実施団体の感想	<p>【参加者の感想】 川めぐりは風が気持ちがよく船からの視野は今までの世界とは異なって見えました。ライ魚が飛び上がってくれたが、汚れた川に多種の魚がいるのだろうか？手賀沼の環境に関心を持つきっかけを作ってくれて有難う！</p> <p>【スタッフの感想】 若い層にも参加をしてもらいたい。</p>
-------------	--

<p>企画名</p>	<p style="text-align: center;">手賀沼の歴史景観をみよう</p>	
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子の景観を育てる会 問合せ先 木村靖弘 (歴史景観担当) TEL&FAX.: 04-7184-6971 Email: kimuyasu69@nifty.com ホームページ: http://www.geocities.jp/abikokeikan/</p>	
<p>目的</p>	<p>手賀沼の船上から我孫子の丘を眺め、その歴史と景観を楽しむ。</p>	
<p>日時・場所</p>	<p>2014年10月4日(土) ①9:00～12:00 ②14:00～16:00</p>	
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>【プログラム】 チャーターした遊覧船で手賀沼をほぼ一周 ・船上から我孫子の丘を眺め、我孫子と手賀沼の今昔、周辺の景観、沼の汚染を説明。 ・柏側の緑道、利根川との関連、干拓の歴史などを説明。 ・手賀沼の生物の姿、手賀沼周辺の古墳、我孫子に暮らしたゆかりの人々の紹介。</p> <p>【ルート】 手賀沼公園⇒大堀川河口付近⇒フィッシングセンター(曙橋)で下船 ⇒柏市沼南側散策後に再乗船⇒手賀沼公園(解散)</p> <p>当初は午前だけの予定であったが参加申込者多数のため、我孫子市手賀沼課、手賀沼流域フォーラム実行委員会と協議し午後の部も開催することを決めた。</p>	
<p>参加対象 参加人数</p>	<p>どなたでも。一般参加は午前 29 名、午後の部 30 名、運営スタッフは 7 名、8 名、合計74名</p>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>松村さんの軽妙な説明に聞き入る。</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>午後部の集合場所で、手賀沼流域フォーラム実行委員会の八鍬さんの説明。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;">  <p>湖上のミサゴ。ベテラン船長さんの案内で珍しい鳥たちにも遭遇できました。</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>フィッシングセンターで下船、説明を熱心に聞く。</p> </div> </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・船上から手賀沼周辺の鳥、魚、植物などを知ることができた。松村さんのガイドの軽妙な説明に時間を忘れました。 ・貴重な我孫子の自然を大切に残していこうと考えた。本日参加した中学の娘とできることは行動に移したい。スタッフの皆さんありがとうございました。 ・参加応募が多く、急遽午後の部も実施した。来年の申込方法なども改善の必要がある。 	

<p>企画名</p>	<p style="text-align: center;">手賀沼賞 エコ・こども教室</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子市環境レンジャー 問合せ先 我孫子市手賀沼課 TEL: 04-7185-1111(内線 468)</p>
<p>目的</p>	<p>我孫子市の小・中学校の生徒を対象に教育委員会学校指導課主催の「科学作品展」のなかから選ばれた「手賀沼賞」受賞作品を取り扱った公開教室の企画。 子供たちに発表機会を設けると共に、多くの人に作品の成果を広める。</p>
<p>日時・場所</p>	<p>2014年10月19日(日) 9:00~15:00 アビスタ</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>■口頭発表会 ・我孫子市の小・中学校の生徒を対象に教育委員会学校指導課主催の「科学作品展」のなかから選ばれた「手賀沼賞」受賞作品を取り扱った公開教室の企画。 ・子供たちに発表機会を設けると共に、多くの人に作品の成果を広める。 ■手賀沼賞クイズ大会 ・発表作品を題材にしたクイズ大会。作品の内容を理解して貰うクイズを出題し、成績において特製野鳥カード又は野鳥ぬり絵をプレゼント。</p>
<p>参加対象 参加人数</p>	<p>口頭発表会 参加者 26名、スタッフ 6名、計 32名 クイズ大会 参加者 クイズ回答者子ども 196名、大人 204名、スタッフ 11名、計 411名。</p>
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">     </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 口頭発表会作品に選ばれたことは、学校・保護者・生徒及び児童にとって大変名誉なことであり、学校、保護者の熱の入れ方が感じられた。行事が重なり自ら発表できなかった生徒は、発表内容をパワーポイントに纏め参加(環境レンジャーが代理説明)した。 ・ 掲示した解説パネルは本人と学校に寄贈。学校では学内に掲示すると学校の児童や生徒の研究成果が広く周知されることが企画実施者として嬉しく思った。 ・ クイズ大会は野鳥カード、塗り絵セットが好評でクイズに引き付けることが有効であった。 ・ 科学作品展の対外発表の場が少なく口頭発表の場が設けたことに今年も感謝された。今後も続けたい。

企画名	カブトムシを探そう、クワガタを探そう
実施団体	団体名 船戸の森の会 問合せ先 七尾 忠 TEL: 04-7184-5866 Email: nanao@k2.dion.ne.jp
目的	船戸の森を通して、地域の子どもと大人と一緒に、カブトムシ・クワガタを探すことで、自然を大事にすることと、生命の尊さを実感するとともに、家族のコミュニケーションを深める。
日時・場所	2014年7月27日(日) 10:00～12:00 船戸の森
プログラム・概要・ルート等	① 船戸の森の自然観察とカブトムシ・クワガタ探し。 ② カブトムシ・クワガタに関するクイズにより、知識を習得する。 ③ 参加者全員に、会員飼育のカブトムシ・クワガタをプレゼントする。
参加対象 参加人数	参加対象: 地域の子どもと大人、参加人数: 子ども44名、付添い31名、会員17名(計92名)



さあ！どこにいるかな？

いつも静かな森に、こんなに大勢！集まりました！！



はい！並んでね！！
 全員分！あるからね！！



参加者や 実施団体の 感想	<p>【参加者から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ毎年、参加していますが、年々手際が良くなりますね。 ・近所に、こんな素敵な森があったのですね。 <p>【スタッフから】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちや付添いの家族の方の笑顔に、また元気を貰えたひと時でした。 ・猛暑も少し和らいだとはいえ、真夏の大人数のイベント！無事故で終了出来てホッとしました。
---------------------	---

<p>企画名</p>	<p>船戸の森をきれいにしよう、みんなでサツマイモほりしよう</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 船戸の森の会 問合せ先 七尾 忠 TEL: 04-7184-5866 Email: nanao@k2.dion.ne.jp</p>
<p>目的</p>	<p>船戸の森を通して、地域の子どもと大人と一緒に、自然に親しみ、自然を大事にすることを体験するとともに、家族のコミュニケーションを深める。</p>
<p>日時・場所</p>	<p>2014年10月26日(日) 10:00~12:00 船戸の森、手賀沼ファーム</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>①船戸の森の自然観察と森の整備(枯れ枝集め、枯れ枝の整理) ②枯れ枝をリヤカーに積んで手賀沼ファームまでみんなで運ぶ。 ③みんなで並んでサツマイモほりをする。 ④焚き火を囲んで、食パンを焼いて食べる。</p> 
<p>参加対象 参加人数</p>	<p>地域の子どもと大人 87名(船戸の森の会会員を含む)</p>
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>船戸の森のあずまやに集合</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>枯れ枝を集めて、森をきれいに。</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>ドキドキ！ちゃんと掘れるかな。</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>掘れた！</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>ワーイ！焚き火だ！</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>パンおいしかった</p> </div> </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・枯れ枝集めやリヤカーでの運搬など、普段できないことができて楽しいひと時でした。 ・サツマイモを掘り出すときに、傷つけないかと緊張しました。 ・焚き火で焼いた食パンのおいしさに、家でもやってみたいと思いました。 ・雨予想が外れよく晴れ、汗ばむほどの陽気の中、無事終了できてホッとしました。 ・子どもたちだけでなく、大人も楽しんでいる姿を見て、行事の成功を実感できました。

<p>企画名</p>	<p>手賀沼親子自然観察会－手賀沼用水路で魚とり！（我孫子）</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 手賀沼水生生物研究会 問合せ先 松本 勝英 TEL&FAX: 04-7187-1704 ホームページ: http://suiken.teganuma.org/</p>
<p>目的</p>	<p>手賀沼の水辺の生きものについて、子どもたちや親に知ってもらう。</p>
<p>日時・場所</p>	<p>2014年11月8日(日)10:00～12:00 手賀沼 沼南側ヒドリ橋たもと</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鈴木代表から本日の予定、講師の諸沢さんからタモ網による魚採りのやり方の説明。 ・ モンドリを仕掛ける ⇒タモ網で魚採り ⇒モンドリを引き上げ ⇒魚の分類 ・ 講師の左村さんから『手賀沼の水草』の話と沈水植物の説明。 ・ 講師の諸沢さんによる解説。採れた魚やエビについて、外来種(外国産、国内移入種)はどれか、どこから来たのか、どうやって手賀沼に来たのかなど。
<p>参加対象 参加人数</p>	<p>小学生以下は親子参加。子ども20名、大人16名、スタッフ11名、合計47名</p>
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  </div> <div style="width: 50%;">  </div> <div style="width: 50%;">  </div> <div style="width: 50%;">  </div> </div>	
<p>【観察された水生生物】 在来種: モツゴ、メダカ、ギンブナ、ヌマチチブ、ドジョウ、スジエビ ヤゴ(ヤンマ科、シオカラトンボ属)、オケラ 国内外来種: ツチフキ 国外外来種: カダヤシ、タイリクバラタナゴ、カムルチー、シナヌマエビ、アメリカザリガニ、ウシガエルオタマジャクシ</p>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時期が遅いためか参加申し込みが例年のようには多くなかったが、例年のように当日参加もあり、おおぜいの親子が参加し、手賀沼の生き物について知る機会とすることができた。 ・ タモ網は最初はうまく使えない子もいたが、何度もやっているうちにコツを覚えて、楽しんでいた。 ・ カダヤシは、8月観察会ではたくさん採れたが、今回はメダカもそれぞれ1匹ずつ採れた。

企画名	手賀沼親子ふれあい探鳥会
実施団体	団体名 我孫子野鳥を守る会 問合せ先 野口 隆也 TEL: 04-7163-7898 ホームページ: http://www.abikoyacho.org/
目的	野鳥観察を通して、楽しみながら私達の住んでいる自然環境を観察する眼を養う。
日時・場所	2014年11月30日(日)9:45~12:40 手賀の丘公園~手賀沼
プログラム・概要・ルート等	①野鳥観察 手賀の丘公園~手賀沼~手賀の丘公園を探鳥。 この間、我孫子野鳥を守る会会員が出現した野鳥の鳴き声の聞き分けや姿を紹介。またスコープに入れて解説する。 ②野鳥ビンゴゲームを実施…野鳥観察の楽しさをゲームで加速させる。 終了後、完成した出来たビンゴの数に合わせ、特製野鳥カードと野鳥塗り絵セットをプレゼント(野鳥観察に熱が入った)。
参加対象 参加人数	一般参加者 28 名(内子供 8 名)、スタッフ 5 名、合計 33 名



参加者集合写真



出発前の説明風景



手賀の丘公園の探鳥風景



参加者や
実施団体の
感想

- ・ 好天に恵まれ絶好の探鳥会日和で 40 種の野鳥と 1 種の家禽を観察。
- ・ 豊かな自然に浸りながら沢山な野鳥に出会え、参加者からは楽しかった、良かったとの声が数多く聞かれた。当会の探鳥会に参加したいとの人もでて野鳥好きになった人が増える機会にたった。
- ・ 今年もビンゴゲームと野鳥カード及び野鳥塗り絵セットプレゼントは、参加者に大好評であった。
- ・ 半数 (16/33 近くは我孫子市以外の人)が参加、参加地域の広がりがみられ良かった。チラシ等の広報効果があったと思われる。